

2020～2021 年度
週報



R | 会長 ホルガー・クナーク
R | テーマ 『ロータリーは機会の扉を開く』
地区ガバナー 相原 茂吉
地区テーマ 『Let's make fellows!』『友達をつくろう!』



国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川 4-25-3 TEL 04-2954-9595
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
HP : <https://www.schuohrc.org> E-mail : schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 柴田讓 会長エクト 菊田邦彦 副会長 寶積英彦 幹事 佐々木康

[第3グループ 例会日: 新狭山① 入間②入間南③ 飯能④ 日高⑤ 狭山中央⑥ 所沢⑦ 新所沢⑧ 所沢西⑨ 所沢東⑩ 所沢中央⑪]

第1267回 (5月7日) 例会の記録

点 鐘 柴田讓会長
合 唱 国歌斉唱・奉仕の理想
第2副SAA 清水(幸)会員 田端会員

出席報告 出席向上委員会 < 小幡直樹 委員長 >

会員数	出席者数	出席率
23名	18名	94.74 %

会長の時間



柴田 讓 会長

「日本とトルコとの絆
の後日談」

2006年春、日本政府は11名ものトルコ人への叙勲を決め、同年5月17日にイスタンブールで伝達式を行った。

通常日本が行う叙勲は、全世界で20名前後なのに、その年はこの20名に加えトルコ人11名の大量叙勲を行った。トルコ1国に3割もの叙勲が集中するのは極めて異例であり、かつ破格の事態となった。慣例にとらわれず敢えて一挙に大量の叙勲を行ったことは、日本政府のトルコに対する「感謝と友情の念」を明確な形で示すことが出来たことになる。

その年の1月に小泉首相がトルコを公式訪問するにあたり、事前説明で「トルコ航空によるテヘラン在留邦人救出事件」の話聞き感激したからである。

イラン・イラク戦争もたけなわの1985年3月、イラン在留邦人達はイラク空軍機の空襲から逃れテヘランか

ら脱出しようとしたが、テヘラン空港に乗り入れていた各国の航空機への搭乗を拒否され絶望の淵に立たされていた。そこにトルコから救援機が飛来したのである。戦禍のテヘランから脱出の方法がなくなり、困り果てていたイラン在留邦人は、トルコ航空のお陰でテヘランから脱出し、無事イスタンブールに逃れることができたのだ。



日本人の緊急脱出を伝える
1985.3.20 毎日新聞の1面

トルコ航空関係者、リスクや危険があるにも拘わらず、日本人救援の為に活躍してくれたことに感激した小泉首相の指導で、日本としては遅ればせながら大量に叙勲をし、改めて感謝の気持ちを表すことになったのである。

イスタンブールの伝達式では、日本人救援を決断したオザル首相の夫人に小泉首相の感謝状が贈られた。オザル首相はその後大統領になり1993年に亡くなったので、故人を叙勲するわけにはいかず夫人に感謝状が贈られたのである。(但し夫人は急病で伝達式には出席できず、息子のエフェ氏が代理出席した)

2007年10月28日に中近東文化センター大講堂で、イラン・イラク戦争下でのトルコ航空のテヘラン在留邦人救出事件をテーマに、第一回シンポジウムが開催された。



「トルコ機でやっと脱出」
1985.3.20 毎日新聞社会面

主催: 日本・トルコ協会
場所: 串本町(和歌山県)
パネリスト: エミネ・キョブルル
(トルコ航空客室乗務員当該機に乗務)
オルハン・スヨルジュ
(元トルコ航空パイロット、当該機機長)
野村豊(元駐イラン日本大使)
毛利悟(元東京銀行イラン駐在員)
森永堯
(元伊藤忠商事、イスタンブール支店長)
総合司会: 大村幸弘((財)中近東文化センター理事)

森永氏は後になって、私は当時のトルコ航空のオラル総裁に「なぜ飛行機を出してくれたのか？」と聞くと、「安全の保障がなかったから飛行機を出したのだ」と。又、日本側に「なぜ日本人を救出しに来なかったのか？」と聞くと、「安全の保障がなかったから飛行機を出さなかった。」という答えが返ってきた。両者は同じ理由で正反対の行動に出たわけである。

「安全の保障」とはいったい誰の安全なのでしょう
か？

日本は飛行機とその乗務員の安全の保障がないから出さなかった....

トルコは日本人の安全の保障がないから出して
くれた....

その背景にあるものは日本とトルコの友好関係
に尽きると思います。

私はトルコの抱く親日感情は世界一だと思っ
ております。ですから今までの話も何ら不思議な
ことではありません。エルトゥールル号の時から
綿々と続いた両国間に起こる事件はトルコ人が
日本人を好きになるような事件ばかりでした。

本日のお客様

〈 佐々木康 幹事 〉

登山家 大山光一様

米山記念奨学生 グエン フォン マイ様

* 5月分の奨学金¥100,000をお渡ししました

幹事報告

〈 佐々木康 幹事 〉

受贈会報

- ・ 所沢西RC
- ・ 飯能RC

回覧

- ・ RIより「日本事務所在宅勤務延長のお知らせ」
- ・ 入間南RCより「例会変更のお知らせ」

委員会報告

・ 親睦活動委員会 〈 小林奈保絵 委員長 〉

5月記念日のお祝い

夫人誕生	實積君	
結婚記念	小幡君	清水(武)君
	渡邊君	江原君
	沼崎君	

卓話

登山家
大山 光一 様



プロフィール

所属: 日本山岳会、日本ヒマラヤ協会

- ・ 10代後半より、本格的な登山を目指して、谷川岳、北アルプス、南アルプス、黒部、八ヶ岳、等で主に岩壁登攀、積雪期登山を中心に活動
- ・ 25年間の空白を経て、50歳で登山を再開。仕事と家庭の両立を図りながら、世界七大陸最高峰に登頂。2007年セブンスミッターの仲間入り
- ・ 2014年 市制60周年記念事業で、ネパールのカラパタール(5545m)に全員登頂
- ・ 2015年 ネパール大地震(M7.8)をエベレストベースキャンプで遭遇、奇跡的に生還
- ・ 2017年 日本スリーデーマーチ第40回記念事業、「エベレスト展望トレッキング」を実施
- ・ 2018年 ネパールヒマラヤメラピーク(6476m)に、登山隊長として登頂
- ・ 2019年 東松山市市制65周年記念事業で、富士山に全員登頂(45名)

8000m峰登頂歴

- ・ 2006年 中国チベット、シシャバンマ(8,012m)登頂
- ・ 2007年 世界最高峰のチョモランマ(8,848m)に単独登山隊で登頂
- ・ 2009年 中国チベット、チョ・オユー(8,201m)に登山隊長として、全員登頂
- ・ 2011年 ネパールヒマラヤ、マナスル(8,163m)に登山隊長として、全員登頂
- ・ 2012年 ネパールヒマラヤ、サガルマータ(8,848m)に単独登山隊で登頂

■再び、山へ

私の山歩きは奥武蔵のハイキングから始まり、その後、北アルプスや南アルプス、谷川岳で、ロッククライミングや冬山登山を経験しました。1970年代、埼玉県山岳連盟の登山隊に参加して、アラスカやヒマラヤで海外登山を経験しました。当時の海外登山は、現在のようには誰でも行ける訳ではありません。選ばれた登山家の限られた世界でした。ハイキングから始めた山登り、そして海外登山という貴重な経験をしたことで、結婚を機会に登山から離れました。

そんな私が、25年余りの空白を経て、50歳で再び登山を再開したのは、定年までの10年間で何ができるか考えた結果です。それまでは会社のためとか家族のために働いてきたことが、自分が納得できる人生だったのか疑問を感じたからです。定年を迎えて企業という組織を離れたとき、会社人間の自分には居場所がない、そんな未来が容易に想像できました。自分の人生がこのままでいいのかという自問自答です。

試行錯誤の結果本格的な登山を再開しました。ただ、家族との厳しい条件付き。それは、家庭生活と二人の娘の教育資金を確保するために、仕事を辞めないで実践するということでした。

■世界七大陸最高峰登頂歴

50代で再開した登山で最初に登ったのが、2001年タンザニアにあるアフリカ大陸の最高峰キリマンジャロ。南米大陸は、2002年に登ったアンデス山脈の最高峰アコンカグア。オーストラリアの最高峰はメルボルン郊外のコジウスコ。ヨーロッパ大陸の最高峰エルブルースは3年連続で通いました。2003年は頂上直下で、先頭グループの一人が歩行困難になり、救援活動で登山は中止。翌2004年は、悪天候に遭遇し途中で敗退。3度目の2005年に登頂しました。

南極大陸に2005年の年末から滞在し、2006年、最高峰ビンソン・マンプに登頂。世界最高峰のチョモランマは、2007年5月中国のチベット側から登頂。34年の歳月を要し、在職中の58歳で達成。

■世界最高峰のチョモランマ(8848m)登頂の記録

初めてのチョモランマは、2007年中国のチベットから登りました。何故、チベット側を選択したかと言えば、5150mのベースキャンプまで車で入れるからです。あと登山期間が短い。それからネパールに比べて入山費用が安かったからです。

出発から帰国まで全日程41日間の登山でした。日本出発から10日後の4月23日、チョモランマのBC(5150m)に到着です。私の高度順応は7000mまで登るのは1回だけです。そしてBCで休養後、8848mの山頂まで一気に登りました。このような登山方法をするのは少数です。

実は、高所登山の方法は二つあります。ひとつは、標高5000mで酸素は地上の約半分、何度も往復して、その高度に身体を慣れさせてから山頂に向かう方法ですが、期間が必要です。もうひとつは、長期間だと身体へのダメージ、負担が大きいので短期間で一気に登るという方法です。どちらの方法がいいのか登山

家や医療関係者の意見も賛否両論です。私は休暇でチャレンジしているので、短期間の登り方で、8000m峰を登っています。そしてチョモランマ登頂後、BCに戻り、チベットからネパールへ。5日後には成田空港へ帰国。午後から会社に出勤。



2007年5月15日のチョモランマ登頂で、34年の歳月を要した世界七大陸最高峰登頂は、58歳で達成。

■再び、世界最高峰のエベレスト(8848m)へチャレンジ

10年前の、2011年3月11日に発生した、東日本大震災の復興支援登山として、関係者の寄せ書きをエベレスト山頂に掲げる計画をマスコミに公表。2012年春、2度目のエベレストもひとりだけの登山隊で、ネパール側から地球のてっぺんを目指しました。



■ヒマラヤの高所登山に学ぶ

2006年から始めた「ヒマラヤ登山10年計画」は、6000m10回、8000mに5回登りました。自然環境の厳しいヒマラヤで、登頂率100%の登山をなぜ実践できるか。疑問を持たれる方もいると思いますが、それは取り組む姿勢にあります。

本を読むときは、はじめから終わりへと読みますが、登山の成功はその逆です。終わりからはじめて、そこに到達するための方法を考えて、できる限りのことをする。それは、求めたい「成果」を明確にする。事業なら収益、登山なら登頂です。

2017年、東松山市国際交流協会20周年事業の富士登山をサポート。訓練登山を経て、富士山に42名が登頂できました。現在、コロナウィルスの感染拡大防止で活動範囲も限られていますが、また機会があれば再開したいと思っています。

■メッセージ

私にとって登山の魅力は、妥協のない過酷な自然環境の厳しさに耐えながら、生と死のギリギリの世界で生き続けることです。あの垂直の岩壁を自分のチャレンジする気持ちを持続させながら、分からない先を見つめて登り続けるのは、目の前に現われる岩場を越えなければ先に進めないからです。

登山を再開するまでの私は意志の弱い人間でした。決めたことが守れない、問題を先送りする、できれば物事に関わりたくないという性格ゆえに、自分の行動や発言に自信が持てなかった。

ところが、たったひとりで登山隊を組織して、ヒマラヤの高所登山にチャレンジする行為は、すべて自分の意志での確かな判断と瞬時の決断をしなければなりま

せん。厳しい自然を相手に自分を磨くことで、計画の遂行と行動に伴う決断ができるようになりました。

そして、本当に豊かな人生を実現するには、「常に自分を変え続けること」が必要です。世の中は、10年単位で大きな変化を経験しています。変わらない真理があるとすれば、それは「世の中は変わり続ける」ということだと思います。そのためには、何事にも「挑戦する力」「勉強する力」「粘り抜く力」、が必要です。この三つの力こそが目標を実現する第一歩です。新しいことに挑戦し、新たな情報を学び、根気よくやり抜くことができれば、人生は大きく動き始めます。短い人生の中で、チャンスは、それほど多くありません。それを開花させるには、自分を変え、チャレンジする勇氣を持つことです。何事も、出来ない決めてるのは自分。そして出来る決めてるのも自分です。人生に遠回りはありません。無駄に見えたことが、あとから無駄でなかったとわかることもあります。夢は必ず叶うとは限りませんが、努力しなければ夢に近づくことができません。日々の努力がすべてです。

結びに、皆さんに伝えたいのは、登山の喜びは、自己満足と心の中に湧いてくる達成感でしかありません。その無償の行為にどれだけ夢中になれるかということです。七大陸の最高峰やヒマラヤの高所登山で学んだのは、何かを成し遂げるのに、特別である必要はない、ということです。

私にとって、最大の発見、最大の驚きは、自分では、できないと思っていたことが、実はできたということです。夢をかたちにするため、目的・目標を掲げ、ヒマラヤを舞台に五体満足で登山活動ができたことを感謝しています。それにしても、神々の棲家ヒマラヤは、選ばれた者だけが生存できる苛酷な世界でした。過去は変えられませんが、未来は変えることができます。



柴田君 今回のお客様大山光様、私共のクラブへようこそおいでいただきありがとうございます。ネパール、エベレスト登山の苦労話を期待しています。宜しくお願いします。

佐々木君 登山家大山光様、本日はお忙しい中ようこそ当クラブへおいでくださいました。テーマ「人生はチャレンジ」の卓話楽しみにしていました。米山記念奨学生マイさん、大学生活はいかがですか？例会を楽しんでください。

江原君 大山光様、本日の卓話を宜しくお願い致します。

江原君 今年5月15日で39回目の結婚記念日となります。お互いの協力のもと今年も無事この日を迎える事ができそうです。来年も同じ気持ちでこの日を迎えられるよう努めていきたいと思ひます。

浜野君 本日の卓話講師大山光様、ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。

小島君 登山家大山光様、ようこそおいでいただきました。お話し楽しみにしてました。宜しくお願い致します。

沼崎君 令和3年5月22日は私の54回目の結婚記念日です。昔は若かったのですが最近はかなり年寄りです。

小幡君 今年48回目の結婚記念を迎えました。後10年2人共元気に生きて行こうと思ひます。

田端君 登山家大山光様、本日は狭山中央RCによるこそお越し頂き感謝申し上げます。楽しみにしてました。又、米山記念奨学生グエン・フォン・マイ様、毎回のご出席ありがとうございます。

渡邊君 大山光様、狭山中央RCへお越し頂き有難うございます。本日の卓話を楽しみにしてました。どうぞ宜しくお願い致します。又、結婚祝いも頂き有難うございます。すべては妻に感謝です。

定例理事会（例会終了後）

- ◆ 6月、7月のプログラムについて承認
- ◆ 柴田年度慰労会家族同伴夜間例会開催について延期
4役への花束贈呈は7月の新旧交代レモニーで行う
- ◆ 6月18日（最終例会）クラブ協議会について
コロナ禍により委員会活動が出来なかったため、退任挨拶は活動できた委員会のみとし、幹事より委員長に依頼
- ◆ 「希望の風奨学金」の協力について
辞退
- ◆ コピー機の買替について承認
- ◆ 新年度役員・理事・委員会委員について
5月10日までに決定し周知する
- ◆ ことも食堂用じゃがいもの収穫について
6月12日（土）または19日（土）に「いも掘り&試食会」を計画中

◆ 次の例会 ◆

5月21日（金）

第2副SAA:東会員 江原会員
パサ会長の時間:若松泰誼パサ会長
会員卓話:浜野貴子会員

5月28日（金）

例会取り止め

